

連載 七番勝負第五局

域学連携の取組

～地域課題の解決を通じた魅力ある地域づくり～

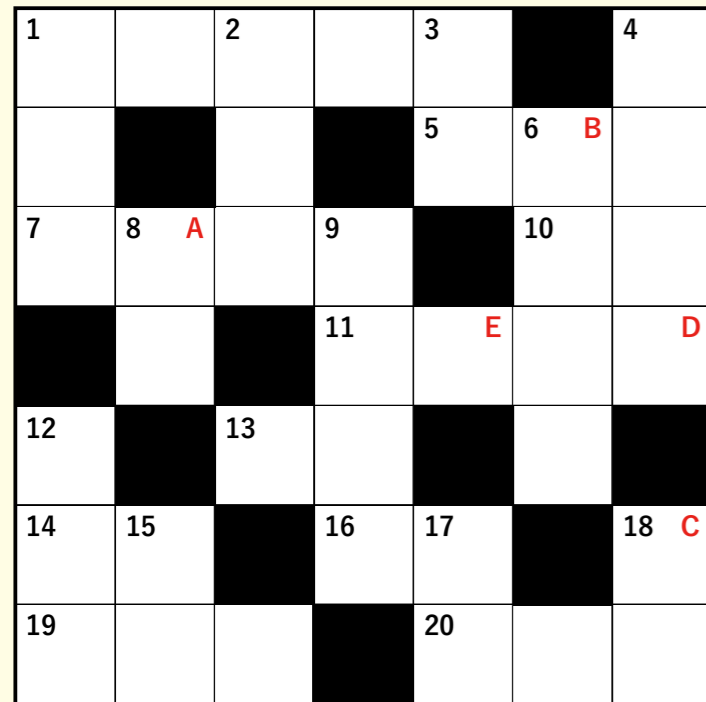
域学連携では、地域課題の掘り起しや解決に向けた取組を通じて、安心して生活することのできる魅力ある地域づくりを進めています。
そのため、連携協定を締結した自治体(総社市、備前市、真庭市、笠岡市、岡山市、赤磐市)と協働し、各地に地域創生コモンズ(以下、「コモンズ」)を設置しています。コモンズは、大学や自治体、NPO等が連携して、地域の方や大学の学生・教職員が参加した、地域課題の掘り起しや解決に向けての活動をする場として機能しています。さらに、今年度は「オールおかやま」での取組を強化するため、「コミュニティキャンパスおかやま」と題し、大学と自治体が協働して、大学の研究シーズと地域のニーズを結びつけた事業を、コモンズを中心とする各地で開催します。

地域創生コモンズの名称と所在地

名称	所在地
地域創生コモンズまにわ	真庭市勝山文化センター内
地域創生コモンズそうじゃ	総社市清音福祉センター内
地域創生コモンズびぜん	備前市日生総合支所内
地域創生コモンズかさおか	笠岡諸島交流センター内
地域創生コモンズあかいわ	赤磐市熊山支所内
地域創生コモンズおかやま	岡山市男女共同参画社会推進センター内

COC+ クロスワードパズル

※カタカナでお答えください
※小文字の拗音(ャ、ユ、ヨ)や促音(ッ)は大文字の直音として扱います



ヨコのカギ

- 映画「黒い雨」、テレビドラマ「ハツ墓村」や「火垂るの墓」のロケ地となった「○○○○○ふるさと村」。
- おかやまCOC+で開発された企業情報と学生の要望を組み合わせた「○○○マッチングシステム」。
- 備前市日生が発祥のソルフード「○○○○」が有名です。
- 穀物の脱穀や製粉、餅つきなどに用いる道具を「○○○」という。
- おかやまCOC+は地域で活躍できる人材の「○○○○」を推進しています。
- 備前市では市民の足として、「備前シティ○○」が運行しています。
- アメリカでもっとも有名なミュージカル作品の一つ「○○の魔法使い」。
- 「○○」の際の防犯は大丈夫ですか？
- いつ起こるかわからない「南海トラフ○○○○」への備えは重要です。
- わが身を顧みず、全力を出して事に当たることを「○○○○」という。

タテのカギ

- 備前市で撮影された備前焼をテーマにした映画「○○○の陶」が2019年秋に公開予定。
- 三人が一組になっていることを「○○○」という。
- 最近、高齢者ドライバーの「○○○」が多発しています。
- 紅白の旗を飾り、源平に分かれた消防団員が、相手の舟を狙って水をかけあう「源平○○○○合戦」。
- 西洋の伝説・物語などで見られる、自然物の精霊を「○○○○」という。
- 東京オリンピックで日本は何枚の「○○メダル」を獲得できるでしょうか。
- 日本生まれ日本育ちのやきもの産地として日本遺産に認定された「きつと○○○○六古窯」。
- 備前市日生にある海の駅「○○○」で海産物などのお買い物やお食事が楽しめます。
- 岡山県を代表する郷土料理「ばら○○」をご存知でしょうか。
- 有機物が不完全燃焼を起こして生じる炭素の微粒子のことを「○○」という。
- 持続可能なまちづくりを進めるため設立された「備前市里○○里山ブランド推進協議会withICM」。

回答	A	B	C	D	E	の	ま	ち	備	前
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

プレゼントに応募しよう!

クロスワードパズルを解いて、プレゼントに応募しよう。連携自治体の備前市の問題を出題しています。必要事項を記入の上、右記メールアドレスまでご応募ください。正解者の中から抽選で10名様に「岡山県立大学グッズセット」をプレゼントします。(今回は備前市から備前焼の箸置きプレゼントもあります。)



- 10名様
- 必要事項**
- 件名に「クロスワードプレゼント」と記載。
 - 本文に「答え」「氏名」「郵便番号」「住所」「年齢」「電話番号」を記載。
- 個人情報の取扱について**
- お寄せいただいた個人情報は、当クロスワードパズル以外の目的には使用いたしません。
- ✉ メールアドレス: cocplus@oka-pu.ac.jp

締め切り: 2019年9月30日(月)

OKAYAMACOC+

NEWSLETTER

岡山県立大学COC+ニュースレター

VOL.5
2019.8.1

PICKUP

寄附講座がスタート

今年度、初の取組としてCOC+事業協働機関である岡山県商工会議所連合会、連携自治体による寄附講座を開講しました。



「岡山創生学」で 寄附講座が始まりました!

一般公開

今年度、初の取組としてCOC+事業協働機関である岡山県商工会議所連合会、連携自治体による寄附講座を開講しました。本講座はCOC+参加大学の学生にも受講を呼びかけるとともに、地域住民や社会人に対しても無料で公開しています。



田中実業(株) 田中代表取締役



(株)アールケア 山根代表取締役

本講義では、地域再生のさまざまな手法を多角的な立場から学び、実践的な知見の取得を目指します。さらに、地域資源の糾合や人材育成の実践例を通して、生活と産業を一体的に展望する地域のグランドライン作りや個別事業計画と実施の在り方、手法等について考えます。

地域再生実践論(第1クォーター:水曜日3限)

日付	講師	題目
4/24 水	備前市総務部財政課行革推進係 主査 川崎 誠 氏	備前市寄附講座 「地方創生 地域活動の解決に向かって」
5/8 水	鶴田石材株式会社 代表取締役 鶴田 康範 氏	岡山県商工会議所連合会寄附講座 「北木石のブランド化による地方創生」
5/8 水	田中実業株式会社 代表取締役 田中 康信 氏	岡山県商工会議所連合会寄附講座 「ブランド牛の生産による地域活性化」
5/15 水	株式会社アールケア 代表取締役 山根 一人 氏	岡山県商工会議所連合会寄附講座 「リーダーシップ概論」
5/15 水	株式会社大和エス・イー・シー 代表取締役 甲斐 國平 氏	岡山県商工会議所連合会寄附講座 「マナーこそ人生成功の道」
5/22 水	真庭市産業観光部 林業・バイオマス産業課 上級主事 田村 奨太 氏	真庭市寄附講座 「バイオマス活用推進の取り組み」
6/5 水	笠岡市市民生活部人権推進課 課長 重見 圭一 氏 (元鳥おこし海援隊 小隊長)	笠岡市寄附講座 「いつまでも住み続けたい島づくりを目指して」



公益財団法人特別史跡旧岡谷学校顕彰保存会 國友理事長



丸五ゴム工業(株) 藤木代表取締役社長

おかやまを学ぶ(第2クォーター:水曜日3限)

本講義では、岡山県の経済、産業、文化、歴史、教育、行政等について、専門家からのさまざまな視点での学びを通して、地域の魅力や課題を知り、地域志向への意義を高めるための学習を行います。

日付	講師	題目
6/19 水	岡山県総合政策局 主事 増田 真一 氏	岡山県寄附講座 「岡山県の概要」
6/19 水	備前市立備前焼ミュージアム 館長 白井 洋輔 氏	備前市備前焼ミュージアム寄附講座 「岡山の歴史と文化から見る『特性』と今」
6/26 水	一般財団法人岡山経済研究所 調査部長 宮前 善充 氏	一般財団法人岡山経済研究所寄附講座 「経済指標で見る岡山県」
6/26 水	岡山県産業労働部マーケティング推進室 主任 川上 信弘 氏	岡山県寄附講座 「岡山県企業の海外事業展開について」
7/3 水	丸五ゴム工業株式会社 代表取締役 藤木 達夫 氏	岡山県商工会議所連合会寄附講座 「海外展開とグローバル人材の育成」
7/3 水	津山信用金庫 理事長 松岡 裕司 氏	岡山県商工会議所連合会寄附講座 「地域創生と地域活動」
7/10 水	RSKホールディング株式会社 代表取締役会長 原 憲一 氏	RSKホールディング株式会社寄附講座 「見捨てられた人々」
7/17 水	公益財団法人特別史跡旧岡谷学校顕彰保存会 理事長 國友 道一 氏	公益財団法人特別史跡旧岡谷学校寄附講座 「岡谷学校の歴史に学ぶ」
7/24 水	株式会社山陽新聞社編集局編集委員室 室長 岡山 一郎 氏	株式会社山陽新聞社寄附講座 「新聞記者から見た岡山県」
7/31 水	岡山電気軌道株式会社 代表取締役専務 磯野 省吾 氏 岡山市都市整備局交通政策課公共交通係 係長 湯浅 聡文 氏 総社市総合政策部政策調整課 課長 内田 和弘 氏 総社市市民生活部交通政策課 主任 平田 啓介 氏	岡山市寄附講座 総社市寄附講座 「岡山の交通」

寄附講座とは

大学が行う教育研究活動のうち経費を企業や自治体等からの資金提供や講師派遣等の人的な支援を活用し、実施する講座です。

地域でつながる 域学連携活動

ACTIVITIES



情報工学部人間情報工学科 新入生オリエンテーション

地域創生コモンズまにわのある真庭市勝山で、情報工学部人間情報工学科が新入生オリエンテーションの一環として地域連携教育に取り組みました。人間情報工学科1年次生44名は、初日に、勝山の町並み保存地区を散策するとともに、観光の見どころ等に関する調査を行いました。また、2日目は、町歩きでの調査をもとに、「のれんの町勝山に世界中の人が来たくくなるような仕掛けを考える」をテーマにグループワークを行い、全体共有のための発表を行いました。



4/12 金
4/13 土

学生が地域で活動しています!

総社のまちを散策 「ぐるっとそうじゃ」 開催!



4/27 土



岡村くん

「地域学生団体√CREATE(ルートクリエイト)」の初めての活動として、総社市職員や地域団体の方のご協力をいただき、「ぐるっとそうじゃ」を開催しました。最初に総社市に関する講話を行い、その後、「総社のまち」を、スマートフォンを使って写真を撮影しながら散策しました。道中では総社宮や商店街の店舗などで、地元の方からさまざまなお話を聞くことができ、それらを参考しながら、振り返りワークショップで、撮影した写真を用いて学生達の手でマップを作成しました。

「√CREATE」は、「地域と学生」を繋ぐことを目的に地域の方々との交流や地域課題について語るワークショップ等、学生と地域の双方にメリットがあるプログラムを提供する学生団体です。今後、僕たちが実施するイベントに是非とも、参加してくださいね!

「おまつり×社交倶楽部」が地域のお祭りに参加しました!

備前市八塔寺春祭り



4/21 日

八塔寺ふるさと村で開催された春祭りに8名の学生が参加し、和ドーナツの販売を行いました。



川崎さん

ドーナツは豆腐と白玉粉を使い、モチモチ食感が好評で多くの人にご購入いただきました。また、祭内で行われたビンゴゲームの運営や司会進行も担い、地域の方々と交流しましたー!!



坂口さん 柳澤さん

「おまつり×社交倶楽部」は、地域のお祭りに積極的に参加し、自分たちと環境や世代の異なる地域住民と交流して、大学内だけでは学べない価値観や考え方の視野を広げることを目的に設立した地域活動団体です。私たちと一緒に地域のお祭りで活動しませんか?

備前市オクトーバーフェスト in吉永



6/22 土
6/23 日

ポップコーンはしお味、ガーリック味、キャラメル味の三種類を販売し、大人から子どもまでご購入いただき、人気がありました!!



田代さん

レストラン レ・マーニで開催されたオクトーバーフェストに11名が参加し、ポップコーンの販売を行いました。

地域活動学生 ネットワーク カタリバ

カタリバは、地域で活動したい、ボランティアしてみたいといった学生を募り、対話的手法を取り入れながら、学生同士の交流を図り、地域のニーズに対応できる学生を育てるための取組です。ひとりではなかなか活動しづらいといった学生もこのネットワークを活用して、学部学科を超えた仲間と一緒に活動しましょう。



- 活動日時 毎月第2火曜日・第4木曜日 17:45~19:30
- 活動場所 SAS(学生会館3階)
- 問合せ先 COC+推進室 村井まで TEL 0866-94-9100

平成30年7月豪雨災害を 忘れないプロジェクト

場所 学生会館1階食堂前
地元総社で歴史的な災害が起こったことを風化させず、忘れないために、岩瀬ゼミとCOC+推進室では、このプロジェクトを開催しました。



7/3 水~
7/12 金

今回は県立大学全体の取組をまとめました。発生間近の短・中期的な支援だけでなく、長期的な意識を持って、被災地の支援を考えるプロジェクトになればと思います。また、災害を他人事ではなく、自分事として、これからは繋げていくためにも、こういった活動を今後も続けていくことが大切だと思います。



塩見さん 児嶋さん